



# NEDOの支援制度について

2025年9月11日

経済産業省 中部経済産業局 地域経済部 イノベーション推進課

中部NEDOデスク

1. NEDOの概要
2. NEDOの支援制度
3. 中部NEDOデスク

- 1. NEDOの概要**
2. NEDOの支援制度
3. 中部NEDOデスク

- NEDOは、「**エネルギー・地球環境問題の解決**」や「**産業技術力の強化**」実現に向けた研究開発の推進を通じて、経済産業行政の一翼を担う、**国立研究開発法人**。
- 自ら研究者を雇うのではなく、**研究開発マネジメント機関**として、産学官が有する技術力・研究力を最適に組み合わせ、リスクが高い革新的な技術の開発・実証を推進し、**イノベーションを社会実装**することで、社会課題の解決や市場創出を目指す。

- 名称：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
NEDO (**N**ew **E**nergy and Industrial Technology **D**evelopment **O**rganization)
- 設立：2003年10月1日（前身の特殊法人は1980年10月1日設立）
- 職員数：1,565名（2025年4月1日現在）
- 予算：約1,464億円（2025年4月1日現在）  
+ 基金事業 約10兆円



1. NEDOの概要
2. NEDOの支援制度
3. 中部NEDOデスク

## ナショナルプロジェクト

- エネルギーシステム分野  
エネルギーシステム技術、再生可能エネルギー技術 等
- 省エネルギー・環境分野  
省エネルギー技術、次世代火力・CCUS技術、  
環境・省資源技術 等
- 産業技術分野  
ロボット・AI技術、IoT・電子・情報技術、ものづくり技術、  
材料・ナノテクノロジー、バイオテクノロジー 等

## 特定公募型研究開発

- ムーンショット型研究開発事業
- ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業
- グリーンイノベーション基金事業
- 経済安全保障重要技術育成プログラム事業
- バイオものづくり革命推進事業

## 特定半導体の生産施設整備等の助成業務

- 特定半導体基金事業 / 特定半導体利子補給事業

## 特定重要物資の安定供給確保支援業務

- 安定供給確保支援基金事業

## 分野横断的公募事業 (テーマ公募型事業)

### 次世代プロジェクトシーズ発掘事業

- 官民による若手研究者発掘支援事業
- NEDO先導研究プログラム (新技術/未踏チャレンジ)
- NEDO懸賞金活用型プログラム

研究開発プロジェクト(ナショナルプロジェクト等)の創出

### スタートアップ支援等事業

- 研究開発型スタートアップの起業・経営人材確保等支援事業
- ディープテック・スタートアップ支援事業
- GX分野のディープテック・スタートアップに対する  
実用化研究開発・量産化実証支援事業

### 研究開発成果の実用化

#### ・事業化支援

- 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた  
技術研究開発事業
- 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の  
研究開発・社会実装促進プログラム
- SBIR推進プログラム

# NEDOのスタートアップ支援事業



- 起業家人材発掘・育成から事業化まで幅広いフェーズに必要な支援プログラムを用意。

## NEDOのスタートアップ支援事業

事業規模

スタートアップ支援  
人材育成プログラム

大学発スタートアップにおける  
経営人材確保支援事業

ディープテック・スタートアップ  
支援事業 (DTSU)

Deep Tech  
StartUps support program

EXIT  
(IPO,  
M&A)

**SSA**  
NEDO Technology Startup Supporters Academy  
研究開発型スタートアップの専門支援人材育成

**MPM**  
Management Personal Matching program  
大学発スタートアップの経営人材確保を支援

ディープテック分野での  
人材発掘・起業家育成事業 (NEP)

NEDO Entrepreneurs Program

Accompany Runner (AR)  
VC・元起業家など、ビジネスプラン作成のアドバイザー

- ディープテック分野の若手人材発掘・育成
- 技術シーズの実現可能性調査
- ARの助言

- ディープテック分野の起業家育成
- 専門カタライザーの助言

開拓コース

ARによる伴走支援  
(ビジネスモデル構築)

躍進コース

専門家による伴走支援  
(ビジネスモデルのブラッシュアップ)

VC等、CVC、事業会社



出資・ハンズオン支援

初期市場獲得に向けた課題の解決

**STSフェーズ**  
Seed-stage Technology-based Startups  
実用化研究開発(前期)

ステージゲート調査

**PCAフェーズ**  
Product Commercialization Alliance  
実用化研究開発(後期)

ステージゲート調査

主要市場獲得に向けた課題の解決

**DMPフェーズ**  
Demonstration development for Mass Production  
量産化実証

ステージゲート調査

出資等

事業提携、出資・融資等

量産体制構築のための実証

設備投資やユーザー実証等を支援

UPP/  
GX\_UPP

事業開発

ステージ/時間

NEP開拓コース  
上限300万円  
9~10カ月

NEP躍進コースA・B  
500万円未満/件  
12カ月以内

NEP躍進コースC  
3,000万円以内/件  
12カ月以内

STSフェーズ  
3億円もしくは5億円/件  
2/3以下 2~4年程度

PCAフェーズ  
5億円もしくは10億円以内/件  
2/3以下 2~4年程度

DMPフェーズ  
25億円以内/件  
2/3以下または1/2以下  
2~4年程度



## □ ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業 ( NEDO Entrepreneurs Program )

NEP

- **NEP開拓コース** 企業を目指して技術シーズを活用した**実現可能性調査を行う**起業家候補の個人・チームを支援
  - **伴走支援者** (AR)と相談しながら活動 ● **活動費 上限300万円** (月額25万円)
- **NEP躍進コース** 技術シーズを活用した**ビジネスモデルを有する**個人・チーム・法人を支援
  - **カタライザーが伴走支援** ● **助成金 500万円未満、3,000万円以内**の2コース

## □ ディープテック・スタートアップ支援事業 ( Deep Tech Startups support Program )

※年4回 通年公募

DTSU

&

GX

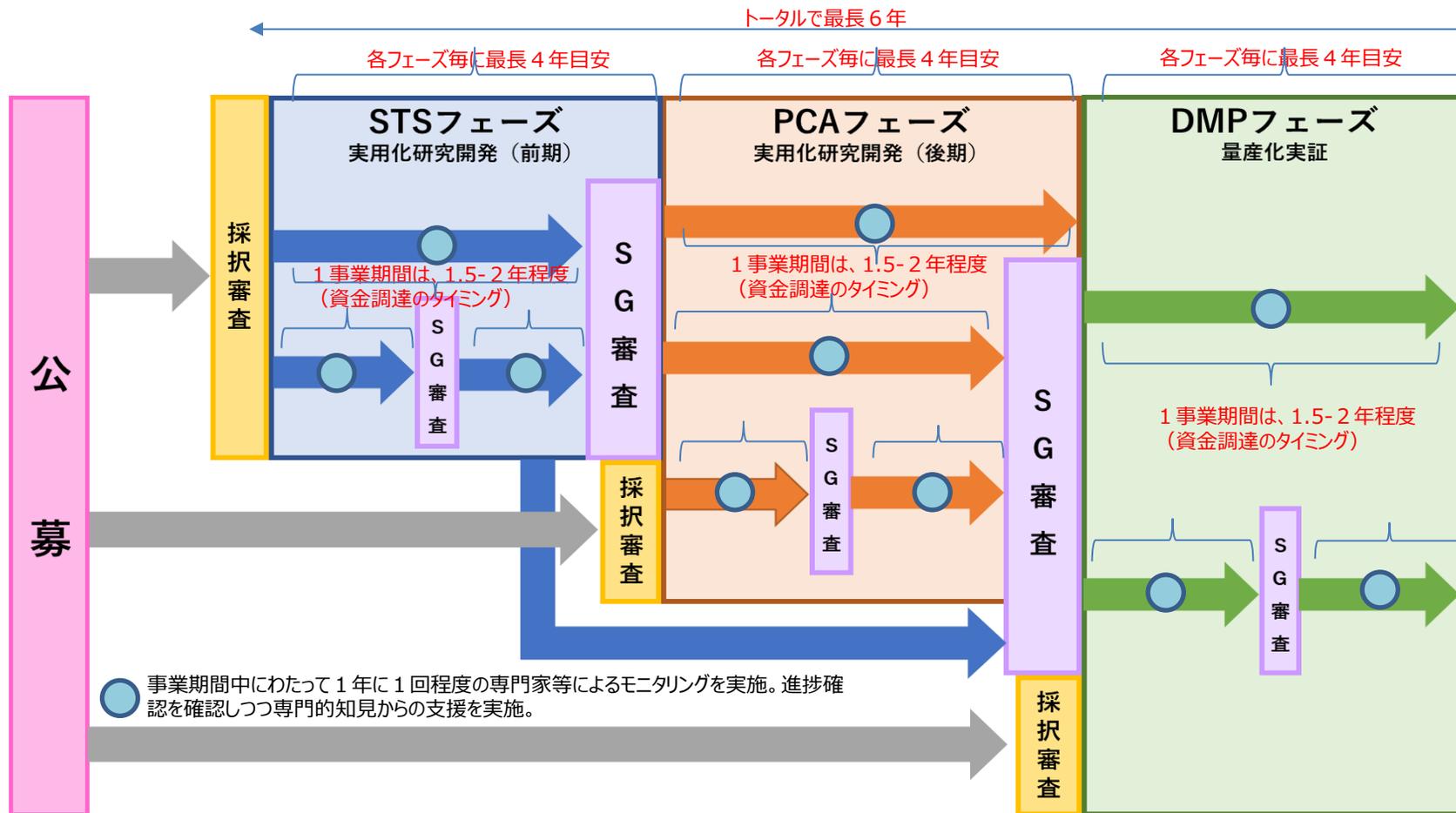
<最長6年間 最大30億円>

- **STSフェーズ 実用化研究開発(前期)** **初期市場獲得**に向けた課題の解決
  - **助成金 上限 3億円** (または**5億円**) 次回の資金調達までの1.5年~2年
- **PCAフェーズ 実用化研究開発(後期)** **主要市場獲得**に向けた課題解決
  - **助成金 上限 5億円** (または**10億円**) 次回の資金調達までの1.5年~2年
- **DMPフェーズ 量産化実証** **量産体制構築のための実証**
  - **助成金 上限 25億円** 次回の資金調達までの1.5年~2年

# ディープテック・スタートアップ支援事業の流れ

- ・いずれのフェーズからも申請可能。ただし、1提案者につき最も自社に適合するフェーズ1つにのみ応募可能。
- ・1事業期間は次の資金調達までの期間（1.5-2年程度、最長4年が目安）。
- ・ステージゲートを経ることで次のフェーズも連続的に支援可能。フェーズ毎にトータルで最大6年、助成金額上限30億円。
- ・公募は、2027年度まで実施し、年4回程度受付の機会を設ける予定。

※研究開発の途中段階であっても、ステージゲート審査の結果により、実施内容の見直しや、本事業による研究開発への支援を中止する場合あり。



2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘、育成し、国家プロジェクトを含む産学官連携による共同研究等につなげる。

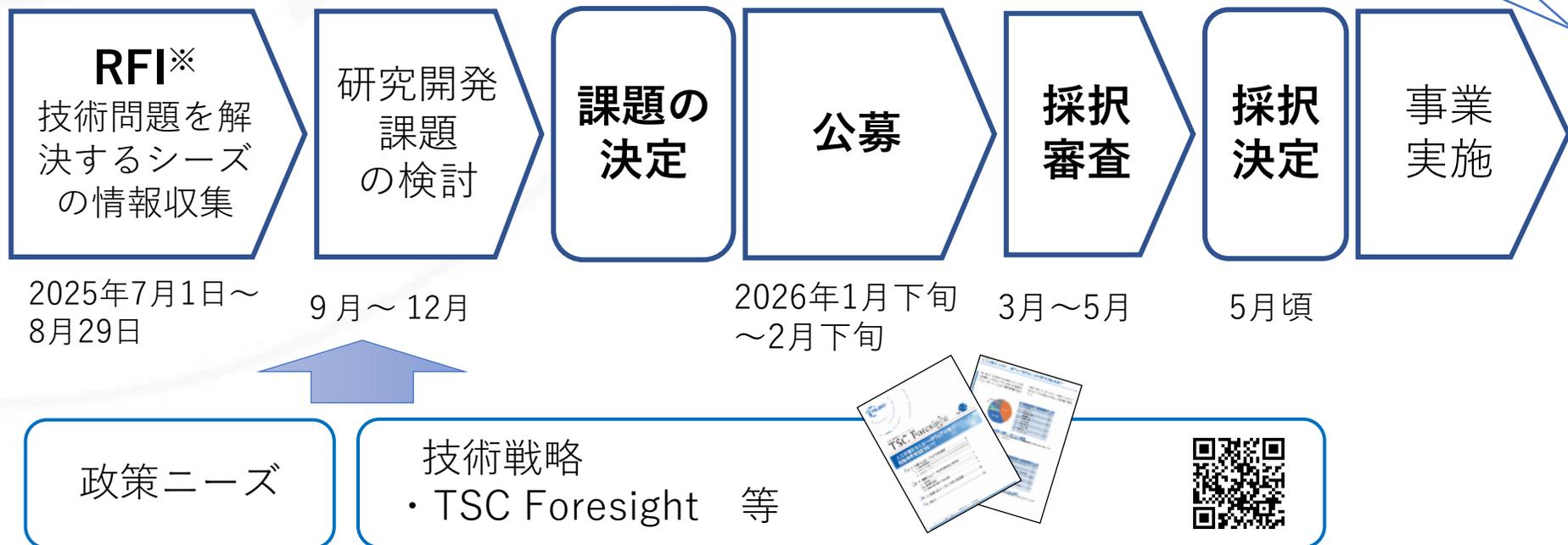
	新技術先導研究プログラム			フロンティア育成事業	未踏チャレンジ
	エネルギー・環境新技術先導研究プログラム	エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発	新産業・革新技术創出に向けた先導研究プログラム	フロンティア育成事業	未踏チャレンジ
対象者	企業・大学等による産学連携体制 * 大学・公的研究機関等のみは不可	産学連携体制/大学・公的研究機関等による海外機関との共同研究	企業、大学等による産学連携体制 * 大学・公的研究機関等のみは不可	産学連携体制 / 民間企業のみ / 大学・公的研究機関等のみ	産学連携体制 / 大学・公的研究機関等のみ
事業形態	委託 (NEDO100%負担)				
委託金額上限/件	【1年目】1億円以内 【2年目】5,000万円以内 【3年目】5,000万円以内* * 中間評価の結果による	【1年度】2,500万円以内 【2年度】5,000万円以内 【3年度】5,000万円以内* 【4年度】2,500万円以内* * 中間評価の結果による	【1年目】1億円以内 【2年目】5,000万円以内 【3年目】5,000万円以内* * 中間評価の結果による	技術の内容やTRL等に応じ実施期間や事業規模を公募課題ごとに柔軟に設定	500~2,000万円
事業期間	最長3年間、2年目に中間評価				最長5年 ※2~3年目に中間評価
対象技術	省エネルギー、新エネルギー CO <sub>2</sub> 削減等のエネルギー・環境分野	省エネルギー、新エネルギー、 CO <sub>2</sub> 削減等のエネルギー・環境分野 海外機関との共同研究による提案が前提	新産業創出に結びつく 産業技術分野 A. 量子技術、 B. AI C. バイオ技術、 D. マテリアル技術	フロンティア領域における 新規技術分野	A領域：次世代省エネエレクトロニクス B領域：環境改善志向次世代センシング C領域：導電材料・エネルギー変換材料 D領域：未来構造・機能材料 E領域：CO <sub>2</sub> 有効利用

## 新技術先導研究プログラム／フロンティア育成事業

### 公募スケジュール

(注) 政府方針の変更等により、本事業にかかる公募内容や時期等を変更する場合があります。

2027年3月末  
1年目事業終了



※ RFI: Request For Information

1. NEDOの概要
2. NEDOの支援制度
3. **中部NEDOデスク**

- 昨年10月にNEDOデスクを設置、**NEDOの職員が常駐するNEDOデスクは中部が初。**
- 地域企業や研究機関への**支援施策の情報発信**、スタートアップや中堅・中小企業を含めた技術開発に取り組む**地域企業等からの相談**に応じ、**効果的な活用の促進**に取り組む。

## 設置日

2024年10月16日

## 設置場所

中部経済産業局地域経済部 イノベーション推進課内

## 主な業務

地域企業や研究機関への支援施策の情報発信や技術開発等の相談対応

## お問合せ

052-951-2774